



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会

2015年 2月 1日発行

2月号
No. 48

向日市寺戸町辰巳4-1-101号

杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう!

ホームページ: <http://sugi.pupu.jp/>

東向日イオンが5月で閉店

買物難民対策と街の活性化策を急げ



杉谷伸夫・60才
向日市議会議員・市民クラブ
上植野町イトーピア在住

イオン東向日店が、5月をもって閉店することが明らかになりました。多くの市民から、驚きと困惑の声があがっています。「一旦閉店」と報道されていますが、建て替えは数年先。土地・建物の所有者はイオンとは別のため、建て替え後にイオンが入居する意向とのことですが、果たしてそうなるかは不明です。

3か月後に東向日の中核商業施設が、少なくとも数年間無くなるのが、はっきりしました。これまで市長が、「イオン向日町店は今後も営業していくと明言している。安心していただきたい。」と誤ったメッセージを発信してきたことが、対応の遅れにつながっていないでしょうか。

以下の2つの対策が急がれます。

- ①「買物難民」対策です。駅前のライフシティが残るとはいえ、食品や特に日用品の買い物をイオンに依存してきた地域の高齢者など、どれくらいの人が困難に直面するか調査・把握し、それらの人に具体的な対策・支援が必要です。これは急がれます。高齢者などのための市内巡回バスの運行は、この点でも有効策です。
- ②市内中心街の活性化策が、いよいよ突きつけられてきました。イオンが中核のこれまでの東向日駅前の街を、今後どのような街にしていくのか、私たちに問われています。(1月30日・杉谷伸夫)

市民の皆さんの声

- 向日市北部の住民のために、阪急洛西口経由のバス路線を要望します。高齢化し、自動車を手放した後は、市役所や市民会館等へ行く交通手段はタクシーのみです。マイクロバスで一日数便でも運行が実現することを切望しております。
- 高齢者に巡回バス、障がい者用バス、乗り合いタクシー等、早急に検討して下さい。明日は我が身。高齢の方や障がいのある方にとって、外出はヘルパーで間に合いません。
- 向日市の活性化を望んでいます。警察署はじめ業務スーパー～市民会館までの道・街はシャッター通りです。市長は何を考えているのか。

- (先月号での)水道料金が少量使用者ほど割高との指摘、まさに私の家です。お風呂もできるだけ間隔を開けるなど、あらゆる工夫を心がけていますが、これでは何のためなのか。基本料金の引き下げをぜひ!

取り組みの予定

★2/21(土) 午前10時～12時

市民参加でまちをつくる会

『地域の子育て支援を考える』

場所: 杉谷ひろば(向陽幼稚園向い東向日方向100m)

★3/5(木) 杉谷伸夫の議会一般質問

午後1時～2時の見込み。ぜひ傍聴を!

※市議会定例会は、2/24～3/19です。

連絡先

ご相談はまずお電話を! TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



中学校 給食

周辺市町が続々実施へ動き 向日市も、検討を始めよ!

●中学校給食が無いのは、 京都など一部だけ

京都・大阪以外の地域から向日市へ引っ越してこられた方の多くが、中学校給食が無いことに驚かれます。そう、大阪・京都以外のほとんどの地域では、中学校給食は「有るのが当たり前」です。全国の公立中学生の85%が、学校給食を食べています。大阪府でも遅くとも来年には、ほぼ全市町村で中学校給食が始まります。

●中学校給食事業のお金は、 国から向日市に出ているのです

中学校給食は、法律で市町村が実施するよう定められています。その運営費は国から相当額が向日市にも毎年交付されています。私の調べでは計算上、中学生一人当たり約22,000円、総額約3,200万円。向日市は、これまで中学校給食に使うべきお金を別の用途に使ってきたわけです。

中学校給食は、長年にわたって多くの保護者の要求です。当事者の要求に反して、このような法と制度の趣旨に反する状態を、いつまでも

続けていいのでしょうか。

●長岡京市でも実施への動き

昨年、高槻市の全公立中学校で全員喫食の給食が始まり、来年からは島本町でも始まります。長岡京市では、新市長が中学校給食の実

現を公約に掲げ、行政も実施に向けた調査を進めているようです。

向日市議会では私をはじめ多くの議員が、これまで何度も中学校給食の実施



を求めてきましたが、市はアンケート調査すらしようとしていません。大切な子ども達に温かい昼食を提供するのは、市の責任です。いつまでも頑なに、給食実施拒否をせず、本市に適した内容・実施方法を、学校関係者、保護者・子ども・市民とともに検討する時期に来ていると思います。（杉谷伸夫）

どうなってるの?

狭くて危ない 西向日駅前整備

阪急西向日駅前、西口・東口とも道幅が狭く大変危険なため、改善対策の市民要望が寄せられていましたが、現在市において駅前整備の検討が進められています。先日、担当部署に検討状況を聞いてきましたのでお知らせします。

- ①市の担当部署で整備の素案を作り、阪急電鉄に打診している段階とのこと。当然のことながら阪急の理解・協力がなければ進みません。
- ②大規模な整備でなく、静かな住宅地の駅前の

環境を保ちつつ、駅利用者・周辺住民の安全向上と景観性を高める目的のようです。

- 駐輪場側に少し道を拡幅して歩道を整備する。特に西口側は現在、改札口の南側に歩道がありません。また駅への送迎のために若干の車が停車できるスペース確保を検討。
 - 西改札口の売店付近のスペースの有効活用も検討されています。
 - 東口側は現在、改札を出たらすぐ道路という危ない状態を改善する。改札を出た後を伸ばし道路が見えやすくする等検討されています。市民の方からも、西側出口の売店周辺のスペースを活用して、歴史観光の窓口にふさわしい雰囲気作りをする提案がされています。
- 駅前の狭くて危険な状態が少しでも早く改善され、同時に景観の向上につながる整備となるよう、期待したいと思います。（杉谷伸夫）

増える自転車事故対策 ルール啓発と保険加入を 自転車も車両です！

●乙訓で死亡事故5人中3人が自転車事故●

昨秋、市民の方から、「自転車事故が多発しています。自分も無謀運転の自転車に当たられそうになりました。地域の問題として取り上げてほしい」とのご意見を頂きました。私は一年中自転車で動き回っていますので、他人事ではありません。

京都府では、自動車の人身事故は減少していますが、自転車に関係する事故は増えています。死傷者の4割が20歳台以下の若者・子どもです。

乙訓地域でも、向日町警察署管内での昨年の交通事故犠牲者は5人。そのうち何と3人



が自転車に関係する事故です。その中で気になったのが、下校中の高校生が歩行者をはね、自転車が加害者となった事故です。

●高額化する賠償額 ●

自転車の事故でも、最近は自動車事故と同じレベルの高額の賠償責任が課せられる傾向です（1億円近い賠償額も）。無保険で人身事故を起こすと、被害者も加害者も地獄です。ところが自転車の賠償保険加入率は、半分以下なのです。

●自治体が自転車保険促進を！ ●

事故防止のためには、何より「自転車も車両である」という基本を認識し、交通ルールを守ることです。また、事故が起きた時、被害者も加害者も守るために自転車保険加入の促進が必要です。

兵庫県に続き京都市も、自転車の賠償保険加入の義務化を検討しています。しかし保険の掛金が高くては困ります。保険会社によると、自治体による交通ルール指導や保険義務化の取組みがリスク低減に寄与し、保険料低減につながるとのこと。

向日市は、道路事情も悪く、歩行者も自転車もとても危険です。向日市あるいは京都府が保険者となって、手頃な掛金の自転車保険をつくることで、モラル向上・事故防止の取組みを進めることが望ましいと思います。（杉谷伸夫）

進む市役所の庁舎整備

異議あり！

市役所内の防犯カメラ

市役所に来られた方はお気づきでしょうが、現在市役所庁舎の改修整備が進められています。

目立つところでは、庁舎前の駐車場が整備され、きれいな歩道と自転車通行帯が設けられました。

受付カウンターが低くなり、隣の人との間の衝突も設けられ、また受付コーナー全体が黄緑色の統一されたデザインで美しくなりました。

その他にも色々ありますが、これから西隣にある教育・下水道関係部署への通路や、自転車駐輪場の雨よけ屋根などが順次進む予定です。

ところが、1つ問題だと思ふことがあります。市役所庁舎内に多数の防犯カメラを設置するとい

うのです。本館・別館・西館すべてに、ほぼ全階の出入口部と庁舎内の計17カ所。設置費用は約5百万円。我々議員にも、年明けまでまったく知らされていませんでした。

防犯カメラ設置については、安心だと感じる人もいます。しかし一方、市役所に来所する市民を24時間常時撮影・録画する必要があるのか、また運用の問題など慎重に検討すべきです。

そこで1月28日に、市民クラブとして、おおむね以下のことを市長宛に申し入れしました。

- ①防犯カメラの設置目的、問題点の検討と管理運営等について、議会に報告すること。
- ②議会の承認が得られるまで、工事は一旦凍結すること。
- ③市民の合意形成の手続きを行うまで、運用は行わないこと。

※皆様のご意見をお聞かせください。

（杉谷伸夫）

昔なつかしい 向日町？

安野 洋子

この2月で喜寿になる私は、(社宅での10年の生活をのぞき)向日町で生まれ、生きてきた。

昔(と言っても終戦の1945年からと言う事)向日町には向陽小学校1つしかなかったが、それは乙訓郡の中心であった。小学校の連合運動会というものがあり東は伏見の菱川小学校、西は大原野小学校など8校が集まり交流も活発であった。

1964年阪急電鉄が京都河原町まで伸びた頃、京都市へ編入した地域が多くなり乙訓郡は現在の2市1町(向日市、長岡京市、山崎町)になってしまった。その中で今は長岡京市が中心のようになってしまったが、向日市、山崎町が古い歴史のある町なのである。(市になるにあたって向

日町市にせよとの意見があったのに)

斎藤道山の油売りの西国街道の門前町として山崎町、向日市は栄えたのである。それに1784年平城京から1794年の平安京までの間の10年間長岡京の中心があったのも向日市である。

しかし今「長岡京」は長岡京市にあったように誤解されている。

最近放送されたNHKの歴史ヒストリーでも長岡京市にあった「長岡京」と全国に放送されたという。3~4年前に天皇、皇后が向日市を訪れ「長岡京」を見学されたが、その時もっとそれを利用して大々的に世に報道することが出来なかったのか。

向日市は歴史が古いのに、活発な長岡京市に対して居眠っているような気がする。「西向日の桜並木と景観を保存する会」や「長岡京まちづくり協議会」など地域での活動はあるが、向日市が行政として支援しなければいけないと思う。

「向日市歴史的風致維持向上計画」が国に提出されたこともあり、もっと市民を啓発して文化的な町「向日市」になるよう行政がやるべきことをやってほしい。

シリーズ 原発事故⑬

大飯原発の運転を差止めよ! 第3次提訴、原告計2697人

1月29日、福井県の大飯原発の運転差し止めを求める裁判で、新たに730人が京都地裁に第3次集団提訴を行いました。これで原告は計2697人となりました。もちろん私も原告の一人です。

この日行われた第6回裁判には、法廷に入りきれない多くの傍聴者が駆けつけました。

裁判では、原発から15キロに住む舞鶴市の原告が意見陳述されました。「原発事故の際、私たち住民はどこに避難するのか、まだ決まっていない。貸切バス1350台で避難というが、福島では放射能汚染区域にはバスの運転手が入ってくれなかったという。国道は海沿いだし、高速道路もこの間の大雨で度々通行止めになった。複合災害では大混乱に陥るだろう。避難計画は絵に描いたモチだ。福島県では、今も12万人が避難している。原発の再稼働を容認する人に『すべての生活が失われる覚悟があなたにありますか』と問いたい。」

- ◆次回裁判：5月28日(木)午後2時・京都地裁
(1時から傍聴席の抽選。裁判後報告集会有り)
- ★第4次原告募集中。誰でも原告になれます。裁判費用として、一人5,000円が必要です。

自然 散策

小畑川のカワセミ

洛西高島屋近くの小畑川には、数羽のカワセミがいます。幼鳥の時から少しずつ色が変わっていくので、違いがわかります。それを見分けるのも、私の楽しみです。このあたりは、まだ自然状態の川岸が見られるので、カワセミが安心してえさを取ったり休んだりできるのでしょう。この環境を、いつまでも残しておいてほしいです。

(潤沢)

写真は小畑川のカワセミではありません

